

1 第五中学校改築概要

第五中学校の改築にあたっては、校長・副校長、保護者・PTA 代表、地域の関係者などで構成される「武蔵野市立第五中学校改築懇談会」において、学校の特徴や地域の状況などについて議論を重ねました。新校舎は学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的で深い学びができる施設を実現するため、校舎の中心にラーニングコモンズ（学校図書館）を開放的に配置し、普通教室や特別教室などの学びの空間ともつながるよう校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間として整備しています。また、第五中学校の特徴である豊かな緑を生かし、地域に調和した自然環境を生かした設計となっています。

2 バリアフリーの視点

（1）円滑な移動経路の確保

- ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に準じて、エレベーター、階段等への両側手すり、スロープ等を設置
- ・校門から昇降口、室内への経路は段差のないつくりとし、滑りにくい仕上げ
- ・敷地内に車いす使用者用の駐車場を設け、校舎まで段差のない経路を確保
- ・車いす及びストレッチャー対応のエレベーターを入口の近くに設け、どの階にも容易にアクセスが可能
- ・教室等の利用居室、トイレ、エレベーターへの経路は段差がなく円滑な移動が可能
- ・屋内運動場や開放用多目的室等の地域へ開放する諸室等は、災害時に避難所となることを踏まえ、全て1階に集約配置し、誰もが容易にアクセスが可能

（2）水まわりの計画

- ・多様な性のあり方への対応も踏まえ、車いす使用者が使用可能な多機能トイレを各階に設置
- ・地域開放エリアの1階多機能トイレには、オストメイトや大人用ベット、ベビーチェア、ベビーベットを併設

